

動物分類学 理学部 遠藤広光



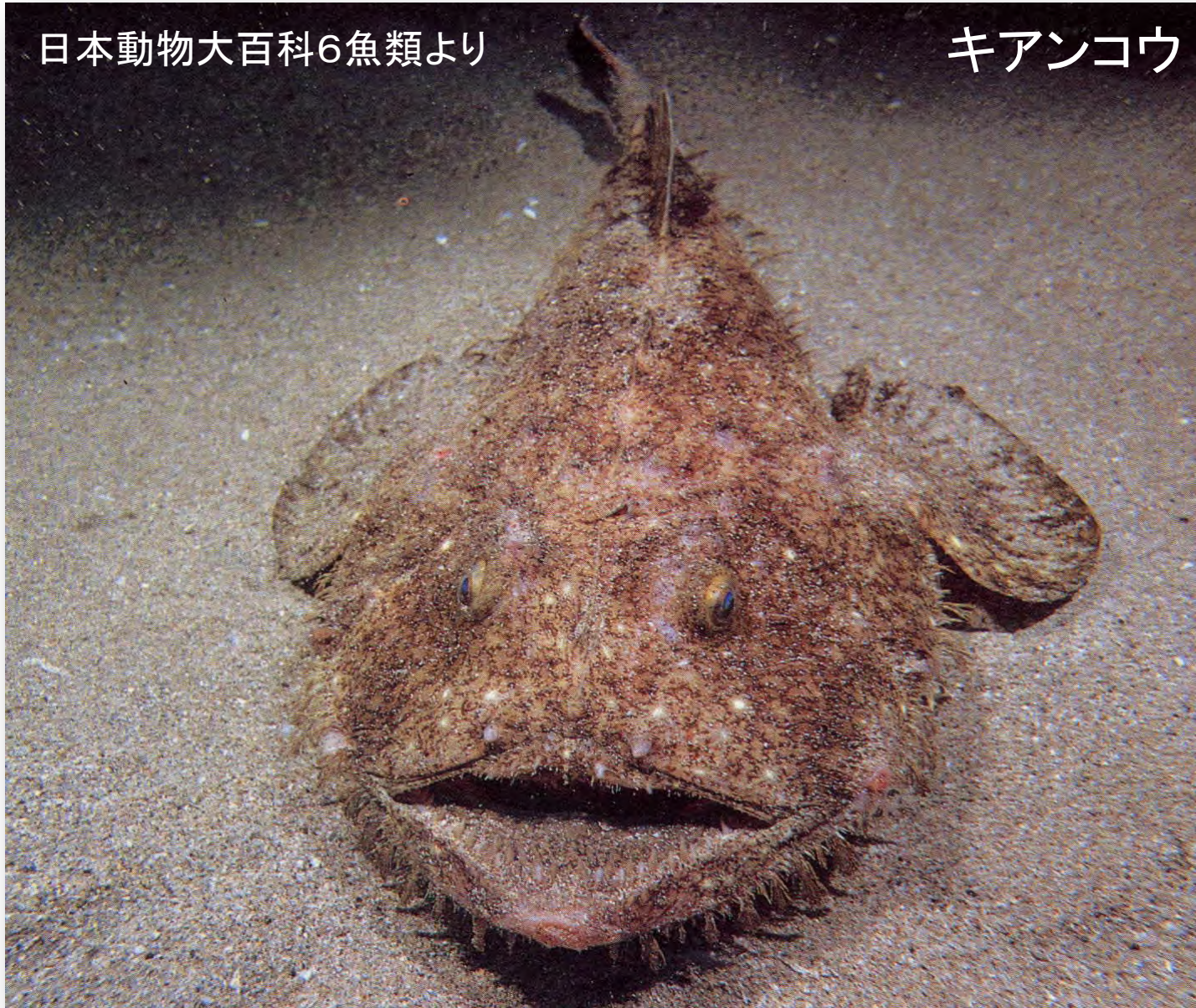
松浦啓一，編(2003) 標本学 自然史標本の収集と管理. 国立科学博物館叢書③. 東海大学出版会.

2018.6.7

アンコウ目 Order Lophiiformes

日本動物大百科6魚類より

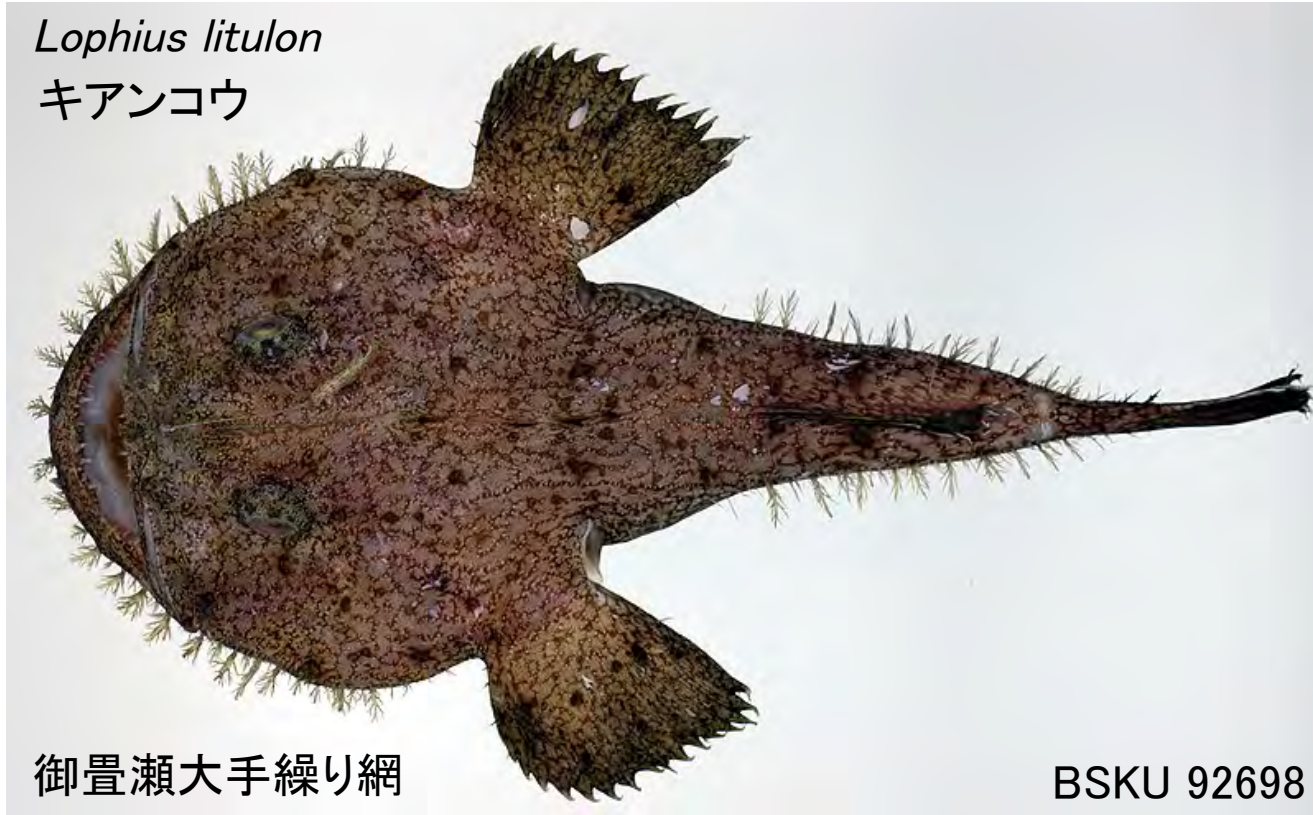
キアンコウ



アンコウ科 Family Lophiidae

Lophius litulon

キアンコウ



御畳瀬大手繰り網

BSKU 92698

カエルアンコウ科 Family Antennariidae

クマドリカエルアンコウ *Antennarius maculatus*



Photo by H. ENDO

フサアンコウ科 Family Chaunacidae



御畳瀬

BSKU 92884

ミドリフサアンコウ *Chaunax abei* Le Danois, 1978

チョウチンアンコウ亜目 Suborder Ceratioidei

ペリカンアンコウモドキ (クロアンコウ科)



沖縄近海の水深 1,100~1,400mで採集

体長15 cm



KT 0201
18. Apr. 02
St
101
P.W.B.

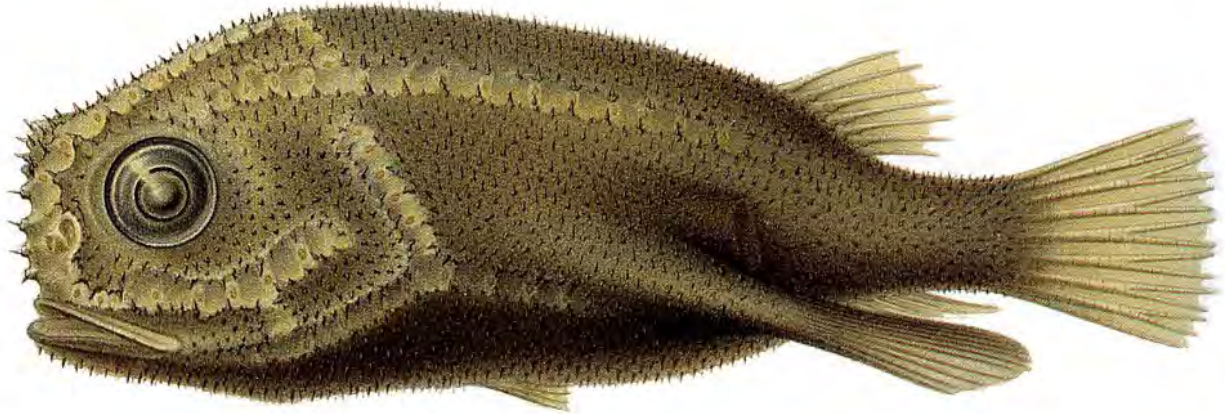
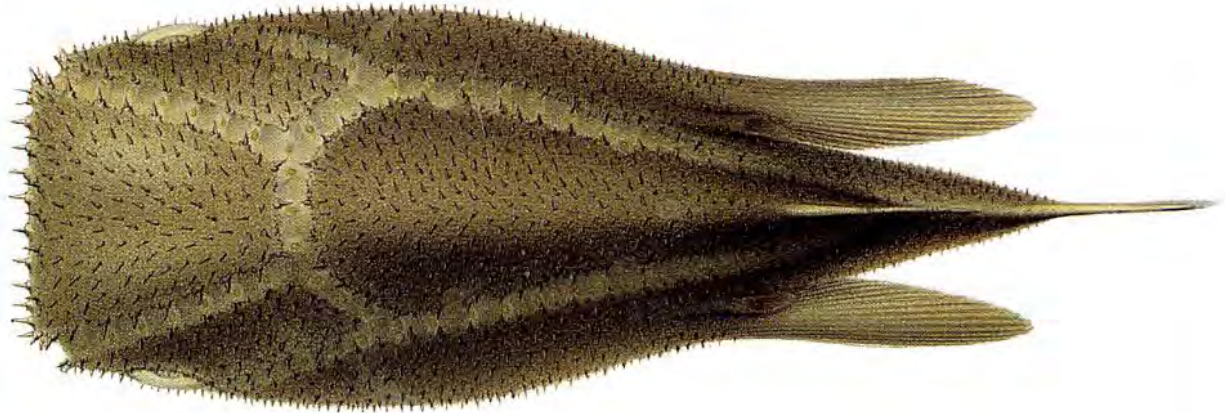
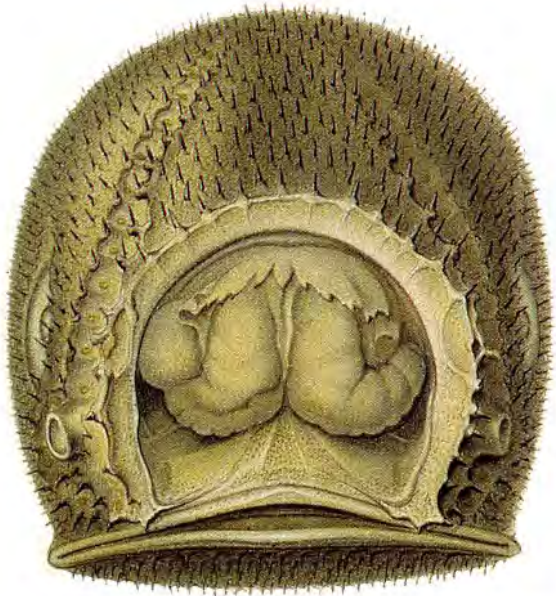
アカグツ科 Family Ogcocephalidae

アカグツ *Halieutaea stellata*



日本動物大百科6魚類より

ユメソコグツ属 Genus *Coelophrys*



ユメソコグツの幼魚(上と右のふたつ)

Coelophrys brevicaudata

アカグツ科の魚。きわめて珍しい幼魚の図だ。それにしても、この巨大な嗅器官はただごとではない。これだけいたらになっているのは、将来円盤型の体となる前兆か[45]。

Coelophrys brevicaudata

荒俣 宏(1989)世界大博物図鑑2魚類 より

アカグツ科の新種の記載論文

A new batfish, *Coelophrys bradburyae* (Lophiiformes: Ogcocephalidae) from Japan, with comments on the evolutionary relationships of the genus

Hiromitsu Endo¹ & Gento Shinohara²

¹Laboratory of Marine Biology, Faculty of Science, Kochi University, 2-5-1 Akebono-cho, Kochi 780-8520, Japan
(e-mail: endoh@cc.kochi-u.ac.jp)

²Department of Zoology, National Science Museum (Nat. Hist.), 3-23-1 Hyakunin-cho Shinjuku-ku, Tokyo 169-0073, Japan

(Received 15 October 1998; in revised form 18 March 1999; accepted 7 May 1999)

Ichthyological Research

© The Ichthyological Society of Japan 1999

Endo, H. and G. Shinohara. 1999. A new batfish, *Coelophrys bradburyae* (Lophiiformes: Ogcocephalidae) from Japan, with comments on the evolutionary relationships of the genus. *Ichthyol. Res.*, 46(4): 359–365.

Abstract A new ogcocephalid batfish, *Coelophrys bradburyae*, is described on the basis of a single specimen collected from the Pacific coast off Aomori, Japan, at a depth between 557–595 m. The species differs from others of the genus by having a small eye (7.1 in head length), short upper jaw (3.7 in head length), short pectoral and pelvic fins (length 3.0 and 9.6 in head length, respectively), small illicial cavity (width 5.3 in head length), and no bifurcated tubercles on the lateral surface of the body. A key to the species of *Coelophrys* is given and the evolutionary relationships of the genus discussed based on cladistic analyses: the sister relationship with *Halieutopsis* was confirmed and possible paedomorphic states, including the globose body, proposed as having evolved secondarily from a flat-bodied ogcocephalid ancestor.

Key words. — Ogcocephalidae; *Coelophrys*; new species; western North Pacific.

Coelophrys bradburyae Endo and Shinohara, 1999
ワカタカユメソコグツ

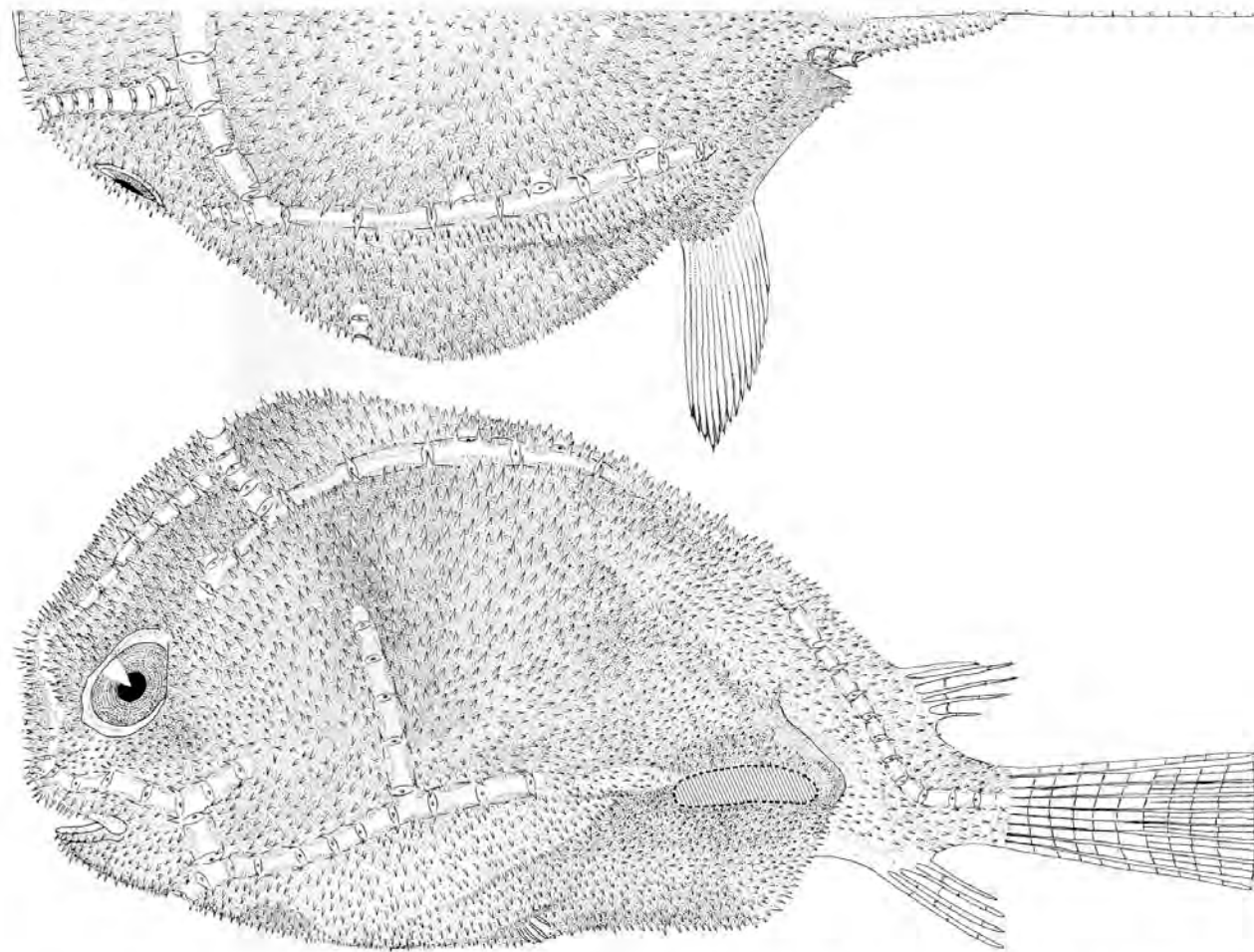


Fig. 2. Dorsal (*above*) and lateral (*below*) views of *Coelophrys bradburyae* sp. nov. (NSMT-P 54045), 43.2 mm SL., off Hachinohe, Aomori Pref., Japan.

Coelophrys bradburyae Endo and Shinohara, 1999

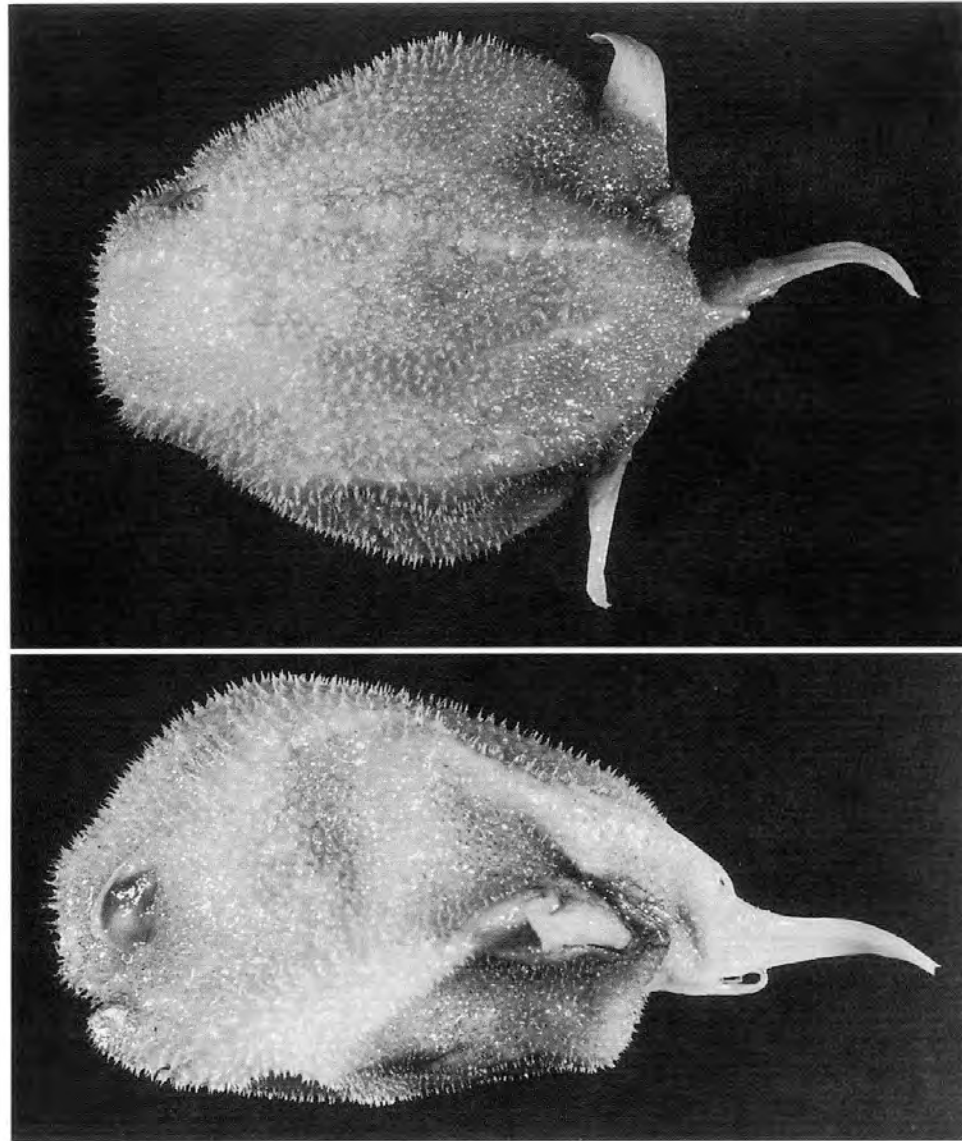


Fig. 3. Holotype of *Coelophrys bradburyae* (NSMT-P 54045). Dorsal (*above*) and lateral (*below*) views.

松浦啓一，編(2003) 標本学 自然史標本の収集と管理.
 国立科学博物館叢書③. 東海大学出版会.





東海大学出版会



9784486031550



1921340028006

ISBN4-486-03155-5

C1340 ¥2800E



ワカタカユメソコグツ
のホロタイプ

定価 (本体 2800円+税)

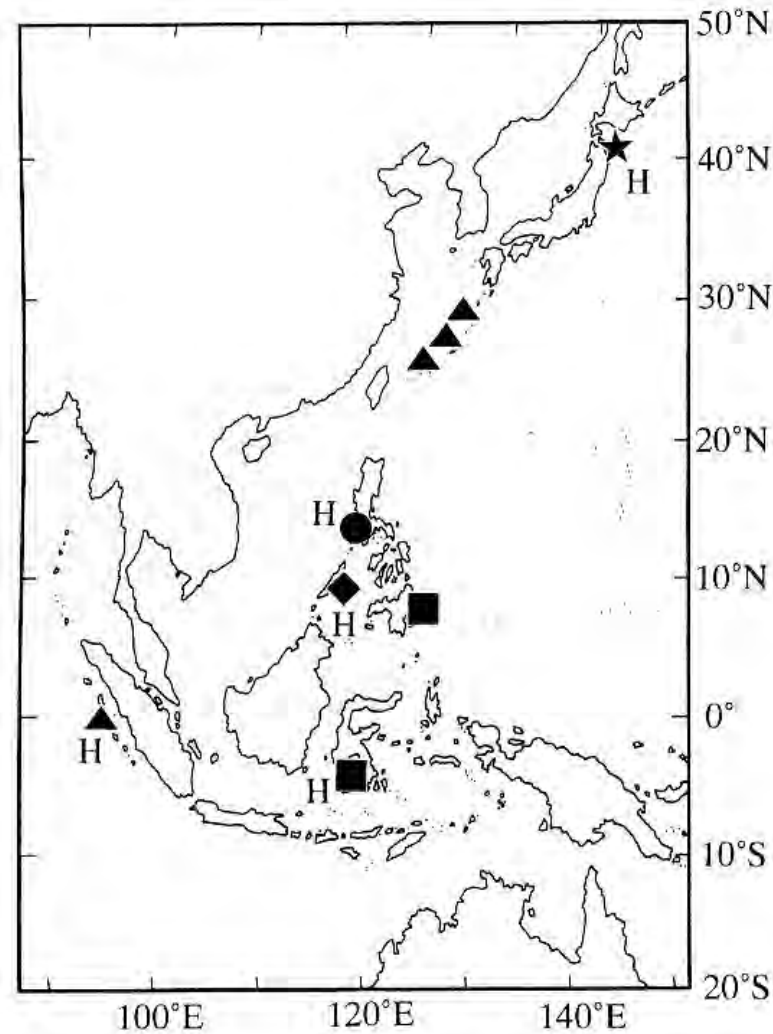


Fig. 1. Sampling localities of the genus *Coelophrys*: *C. arca* (●); *C. brevicaudata* (▲); *C. brevipes* (■); *C. mollis* (◆); *C. bradburyae* (★). “H” indicates type locality of each species. Localities of type of *C. brevicaudata* and non-type of *C. brevipes* indicate west of Sumatra and off the east coast of Mindanao Island, respectively (precise data unknown).

ワカタカユメソコグツのエスカ

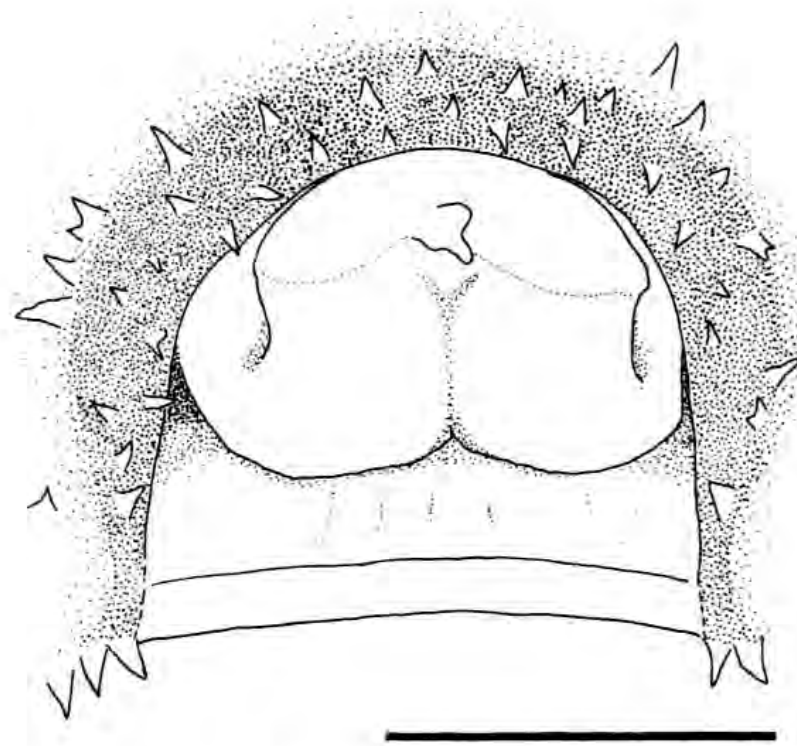


Fig. 4. Frontal view of esca of *Coelophrys bradburyae* (holotype). Scale bar indicates 5 mm.

アカゲツ科内の系統類縁関係の推定

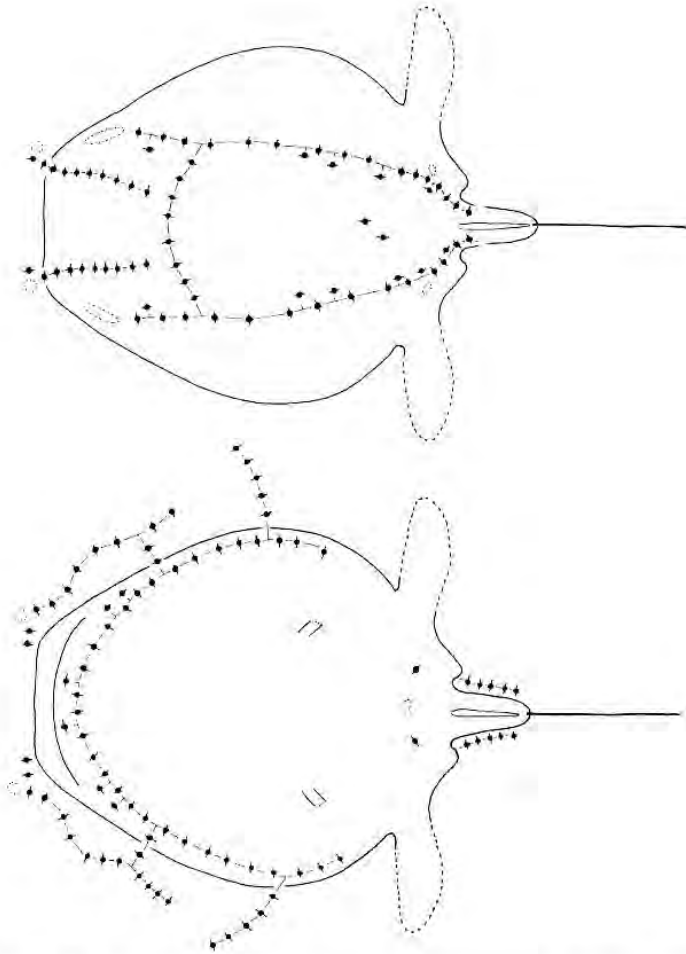


Fig. 5. Schematic illustration of neuromasts of lateralis system of dorsal (above) and ventral (below) patterns of *Coelophrys bradburyae* (holotype).

Endo and Shinohara (1999)

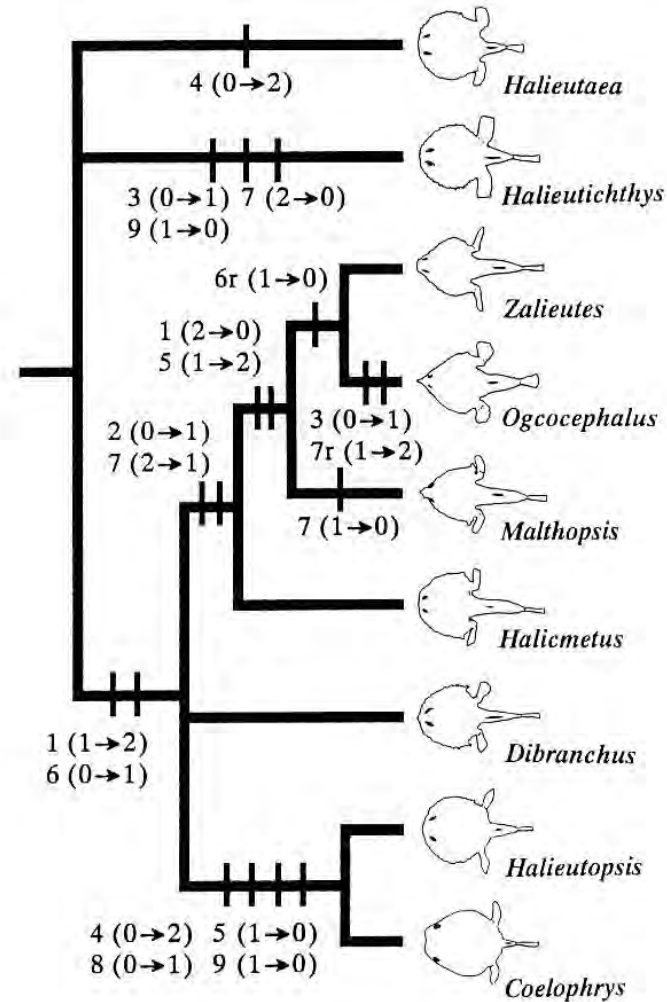
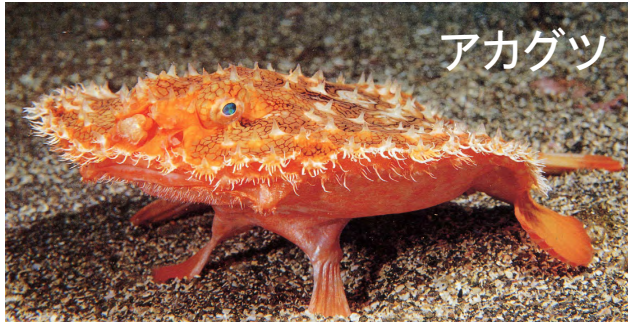


Fig. 6. One of nine cladograms of relationships within ogcocephalid being identical to the strict consensus (length=18, CI=0.72, ACCTRAN). Numbers on each clade indicate "TS (primitive→derived)". Reversal indicated by "r".



アカグツ

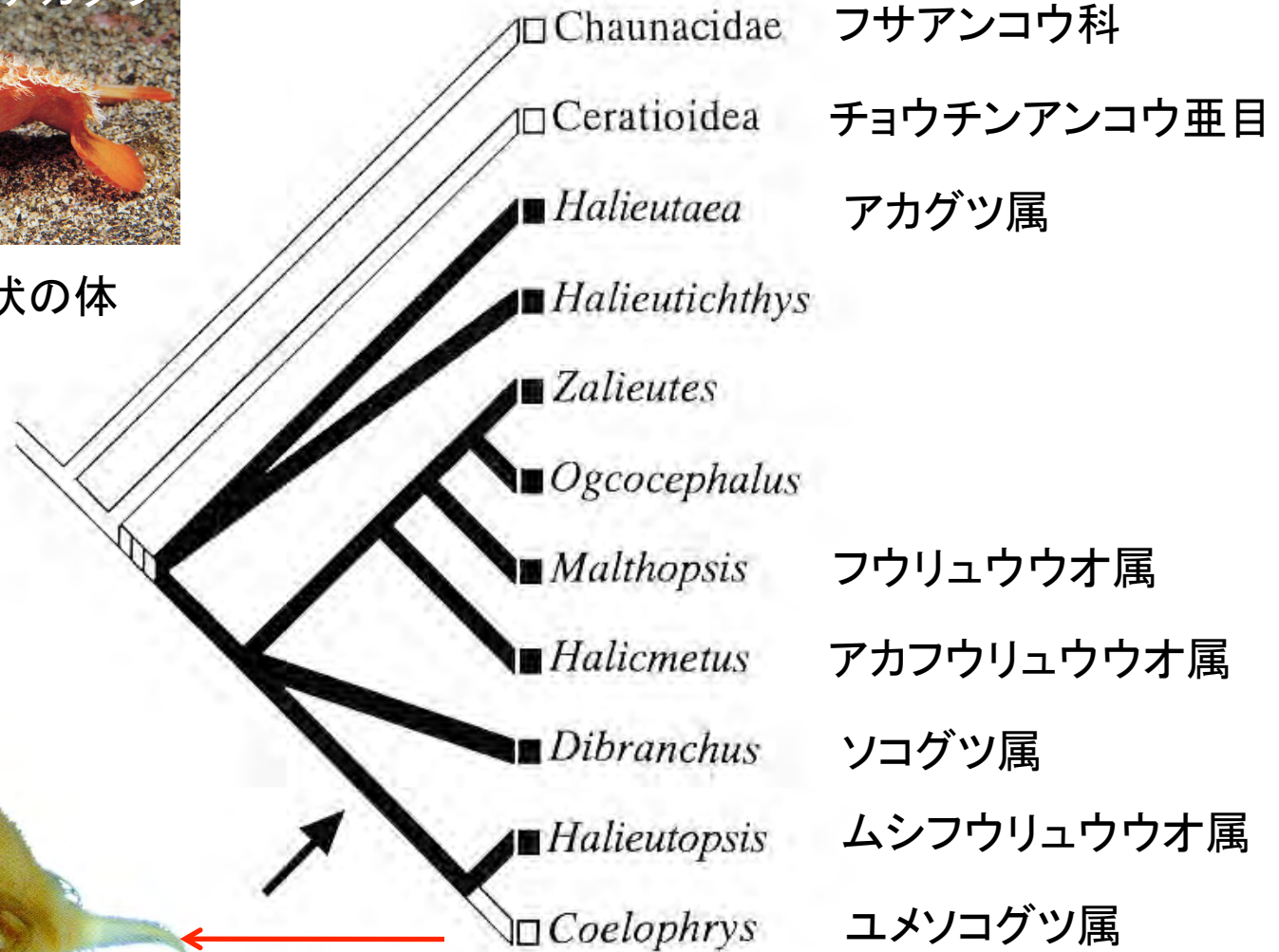
アカグツ属 円盤状の体

ワカタカユメソコグツ



球状の体

form evolution among ogcocephalids and two outgroups estimated by MacClade. Black and white bars indicate roughly “depressed” and “globose to compressed” states, respectively. Arrow indicates hypothesized ancestor of *Coelophrys* and *Halieutopsis*.



標本の役割 分類学を支えるもの

Coelophrys bradburyae sp. nov.
(New Japanese name:
Wakataka-yume-sokogutsu)
(Figs. 2–5)

Holotype. NSMT-P 54045, 43.2 mm standard length (SL), 40°8.91'N, 142°15.52'E–40°5.18'N, 142°13.49'E (off Hachinohe, Aomori Prefecture, Honshu, Japan), 557–595 m, 6 Nov. 1995, coll. G. Shinohara and H. Endo (R/V *Wakataka-maru*).

Diagnosis. A species of *Coelophrys* with a small eye (7.1 times in HL), short upper jaw (3.7 in HL), short pectoral fin (3.0 in HL), short pelvic fin (9.6 in HL), small illicial cavity (width 5.3 in HL) and no bifurcated tubercles on the lateral body surface.

Description. Counts and proportional measurements given in Table 1. General body form shown in Figs. 2–3. Head very large, somewhat depressed, globose, length equal to width, 1.6 times greatest depth. Trunk extremely short. Dorsal fin origin above poste-



Endo and Shinohara (1999)

「自然史研究に用いる標本」とは？

- 収集した自然界に存在するもの
- 採集記録が必要 場所と年月日や時間, 環境など
- ある程度の数が必要 変異や分布, 資源
- 適切な処理を行い作成し, 適切な整理と保管



自然史博物館

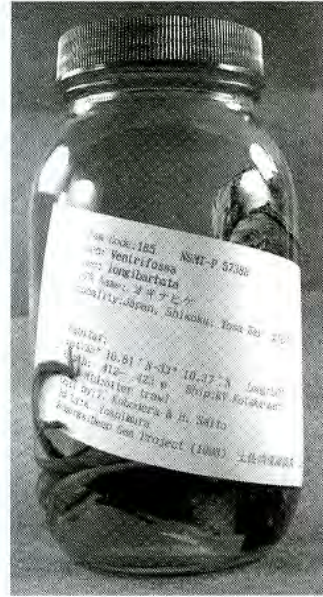
研究結果を保証する「証拠 voucher」

標本採集から管理まで

- 採集と採集データを記録
- 作成と処理
- 受入 研究機関へ
- 仕分けと仮同定
- 同定と登録 標本台帳とデータベース, タグ, ラベル
- 収納と配列 分類体系, 調査, タイプ
- 貸出と交換 記録を保管 送り状 invoice

規則に従って登録・配列・管理

半永久的に運営する体制と資金が必要



NSMT -

Sp. Ventrifossa longibarbata
オキナヒゲ

Loc. Tosa Bay St. 400m ①
33°10.807'N, 133°37.301'E ~
33°10.371'N, 133°37.125'E

Date. 1998 Sep. 8

Coll.by. Kotaka - maru T. Kubodera & H. Saito

Id. by. K. Yoshimura

Remarks: No. 577

Fam Code:185 NSMT-P 57388 - (4) 15- 25.5 cm SL Bottle No: Place:M
 Gen: Ventrifossa Type: Sort:SP
 Sp: longibarbata Sector:Japan: southern Japan
 JPN Name: オキナヒゲ Country:Japan
 Locality:Japan, Shikoku, Tosa Bay 土佐湾

Habitat:
 Lat:33° 10.81' N-33° 10.37' N Long:133° 37.3' E-133° 37.13' E Water Temp: °C
 Depth: 412- 423 m Ship:RV Kotaka-maru Date: 8 Sep. 1998
 Coll Mtd:otter trawl Hour:1041-1056
 Coll by:T. Kubodera & H. Saito Donor:
 Id by:K. Yoshimura Orig No:
 Remarks:Deep Sea Project (1998) 土佐湾深海調査 No.577 St.400m①

図 3.2 国立科学博物館の標本とラベル

魚類の液浸（アルコール）標本。最近では手書きだけではなくプリンターで印刷したラベルも使われている。アルコール標本に入れる場合、ラベルの紙やインクは水やアルコール耐性のものでなければならない。

高知県生まれの魚類分類学者

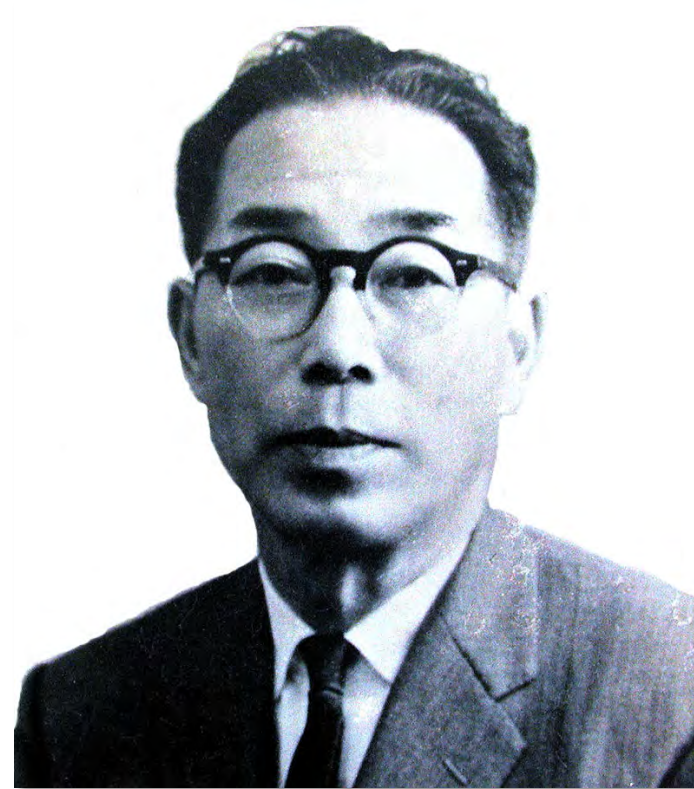


たなか しげほ
田中 茂穂 博士

“日本の魚類分類学の父”

1878-1974

*1904-1940 東京帝国大学



かもはら としじ
蒲原 稔治 博士

高知大学名誉教授

1901-1972

*1928-1964 旧制高知高校-高知大学

高知大学工学部の魚類標本コレクション



工学部1号館2階の魚類標庫

BSKU の略号で登録

登録標本 12万件

タイプ標本 144種

・ホロタイプ 87種

・ネオタイプ 4種

・パラタイプ 108種

(1283標本)

} 担名
タイプ

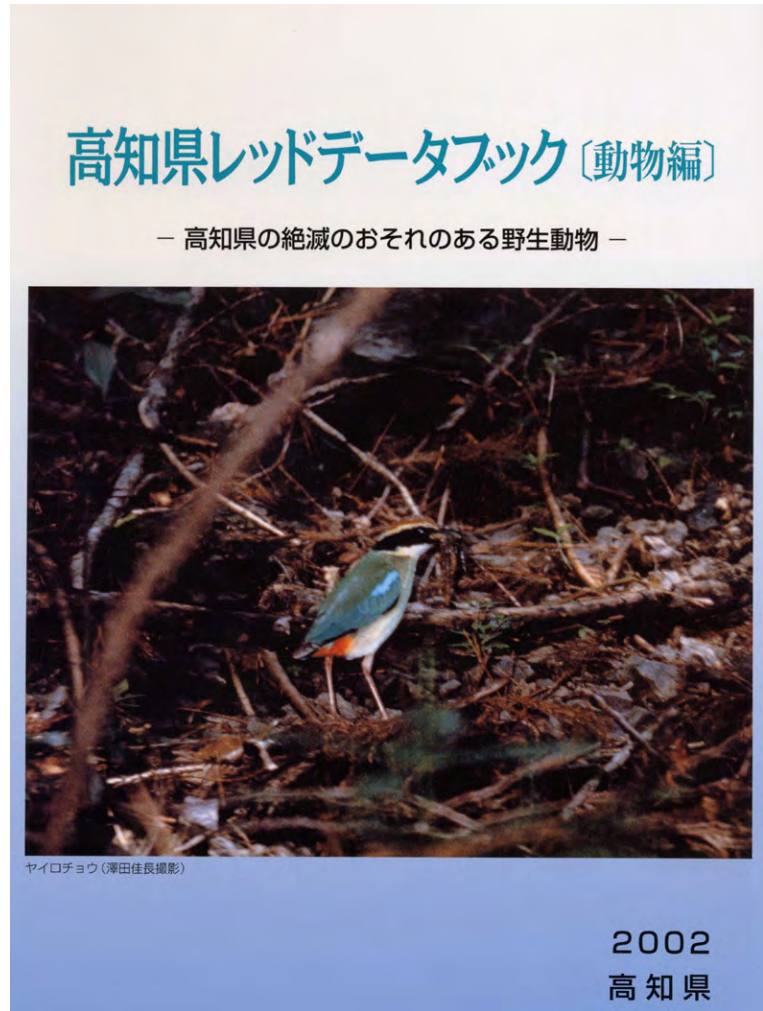
日本周辺以外の海域での
調査標本も多数所蔵

・東南アジア

・グリーンランド

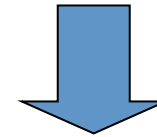
・南アフリカ

標本は今後ますます重要になる



種多様性の解明

- ◎標本の収集と維持管理
- ◎標本のデータベース化
および統合, 情報公開



環境のモニタリング
自然史学の教育と啓蒙
資源



研究活動 資料

➔ 研究活動

➔ パンフレット/販売書籍

➔ 自然科学のとびら
(広報誌)

➔ 研究報告

➔ 神奈川自然誌資料

➔ 調査研究報告

➔ 目録

➔ 年報

➔ 魚類写真資料
データベース

HOME > 研究活動・資料 > 魚類写真資料データベース

魚類写真資料データベース

魚類写真資料データベース (国立科学博物館のWebサイトへのリンク)

Fish Pix (「魚類写真資料データベース」の英語版へのリンク)

当館の魚類写真資料データベースに登録されている、魚類の水中生態写真や標本写真を、

- 科の和名
- 種の和名
- 撮影場所
- 撮影者
- 科の学名
- 種の学名
- 撮影年月日
- 写真番号

から検索できます。



魚類写真資料データベースとは？

このデータベースは魚類の水中生態写真や標本写真から構成されています。

魚類は種類ごとに独自の色彩をもっています。しかし、色彩は標本になるとすぐに消えてしまいます。このため水中写真や採集直後の標本写真は分類学的研究や生態学的研究に欠かせない資料となっています。

また、サンゴ礁性魚類をはじめとして、多くの魚類は美しい色彩や特徴のある色彩をもっています。そして、魚類の中には水中で興味深い生態を示す種類もいます。このデータベースを通じて、魚類の美しい姿やちょっと変わった姿を知っていただけることと思います。そして、多くの人たちが魚類に興味をもって下さることを願っています。

[\[トップへ戻る\]](#)[\[UODAS\]](#) [\[日本産淡水魚分布データベース\]](#)

このデータベースは神奈川県立生命の星・地球博物館の魚類写真資料データベースに登録されている画像に基づいて構築されています。また、データの検索機能は同博物館と国立科学博物館の共同作業によって開発されました。

新着情報

- ・ 2017年3月 画像を5,000件追加し、収録件数は104,195件となりました。
- ・ 2016年3月 画像を5,000件追加し、収録件数は99,195件となりました。
- ・ 2015年3月 画像を5,000件追加し、収録件数は94,195件となりました。
- ・ 2014年3月 画像を5,000件追加し、収録件数は89,195件となりました。

2017年3月
現在 104,195 件

特徴

このデータベースは魚類の生態写真や標本写真から構成されています。魚類は種類ごとに独自の色彩をもっています。しかし、色彩は標本になるとすぐに消えてしまいます。このため生態写真や採集直後の標本写真は分類学的研究に欠かせない資料となっています。また、サンゴ礁性魚類をはじめとして、多くの魚類は美しい色彩や特徴のある色彩をもっています。そして、魚類の中には水中で興味深い生態を示す種類もいます。このデータベースを通じて、魚類の美しい姿やちょっと変わった姿を知っていただけることと思います。



ご利用にあたって

閲覧やダウンロードした画像の個人的な利用を除き、資料の利用に際しては神奈川県立生命の星・地球博物館および国立科学博物館の許可が必要です。個々の写真の著作権は撮影者に属します。

[以上の内容に同意する](#)

このデータベースについて

- ・ [魚類写真資料データベースチームの紹介](#)
- ・ [魚の写真をこのデータベースに登録してみませんか](#)
- ・ [このデータベースは研究に役立っています](#)

種の和名

完全一致

検索

[\[絞り込み検索\]](#) [\[詳細検索\]](#) [\[科一覧\]](#) [検索の手引き](#)

データベースご利用にあたって

閲覧やダウンロードした画像の個人的な利用を除き、資料の利用に際しては神奈川県立生命の星・地球博物館および国立科学博物館の許可が必要です。個々の写真の著作権は撮影者に属します。

魚の写真をこのデータベースに登録してみませんか

魚の写真はとても役に立ちます。水中写真はもちろんのこと、釣った魚や網で採った魚の写真も大変貴重な情報です。提供頂いた画像は神奈川県立生命の星・地球博物館の画像資料として登録され、同博物館の規程に基づき博物館活動の様々な場面(研究、展示、教育、インターネット上での公開など)で活用されます。[登録の方法](#)

このデータベースは研究に役立っています

- | | |
|----------|--|
| 分類学的研究 | かつて新種の発見は研究者の手によって行われてきましたが、最近ではダイバーが撮影した写真にもとづいて新種が発見される例が多くなりました。つまり、魚類写真資料データベースの活動が実際に新種の発見に結びつくわけです。また、魚類写真資料データベースに登録された数多くの画像を見ることによって、個体変異や地域変異に関する情報を得ることができます。 |
| 生態学的研究 | 水中写真の撮影日や撮影水深を利用すれば、魚の出現時期や生息水深を知ることができます。たとえば、伊豆半島沿岸で撮影されたカミノウオ科の魚を検索すると、撮影された月は9月-12月、撮影水深は10-20mの範囲に集中していることがわかります。また、いろいろな魚の水中での定位姿勢や共生の事実などの記録にも役立っています。 |
| 生物地理学的研究 | 最も得意とするのがこの分野です。地域ごとに撮影された魚種をリストアップすれば魚類相を明らかにすることができます。逆に、種ごとの撮影地をリストアップすれば分布範囲を知ることができます。 |

種の和名 キマダラハゼ

完全一致

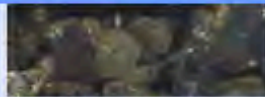
検索

[[絞込検索](#)]

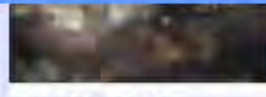
[[詳細検索](#)]

[[科一覧](#)]

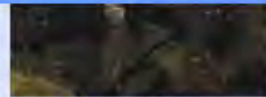
[検索の手引き](#)



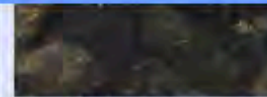
キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988



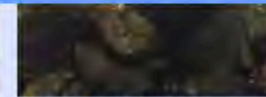
キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988



キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

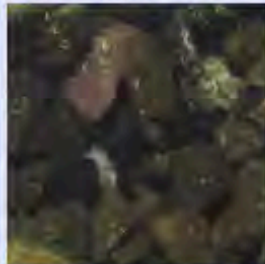


キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988



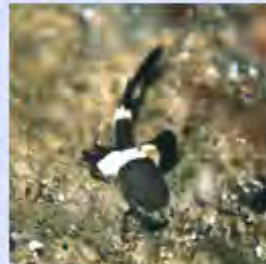
キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

[KPM-NR0008318](#)



キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

[KPM-NR0015839](#)



キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

[KPM-NR0021658](#)



キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

[KPM-NR0053146](#)



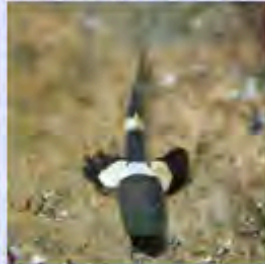
キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

[KPM-NR0053147](#)



キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

[KPM-NR0062529](#)



キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

[KPM-NR0080859](#)



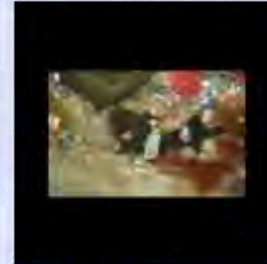
キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

[KPM-NR0090955](#)



キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

[KPM-NR0092573](#)



キマダラハゼ
Astrabe flavimaculata
Akihito et Meguro,
1988

KPM-NR0090955



画像の登録番号

キマダラハゼ(スズキ目ハゼ科)

Astrabe flavimaculatus Akihito and Meguro, 1988



BSKU079563

種の和名 キマダラハゼ

完全一致

検索

[[絞込検索](#)] [[詳細検索](#)] [[科一覧](#)] [検索の手引き](#)



キマダラハゼ

2006年9月11日

横浪半島先端の白ノ鼻タイドプールで採集

キマダラハゼ [ハゼ科]

Astrabe flavimaculata Akihito et Meguro, 1988[Gobiidae]

撮影場所：高知県土佐市；土佐湾，横浪半島，宇佐町竜，白ノ鼻

撮影日：20060911

撮影者：岡本沙知

備考：水深 1.5 m

[前へ](#)

[次へ](#)

14件中 13件目

種の和名 キマダラハゼ

完全一致

検索

[\[絞込検索\]](#) [\[詳細検索\]](#) [\[科一覧\]](#) [検索の手引き](#)



キマダラハゼ [ハゼ科]
Astrabe flavimaculata Akihito et Meguro, 1988[Gobiidae]

撮影場所：静岡県，相模湾，伊豆半島東岸，伊豆海洋公園
撮影日：20020625
撮影者：大窟浩幸
備考：6m

[前へ](#)

[次へ](#)